e ひと・e はなし　苦節9年

札幌西支部
青沼　秀
Syu Aonuma

皆さま、初めまして。令和4年6月に札幌で独立開業いたしました、青沼と申します。簡単に自己紹介をさせていただきますと、大学進学を機に地元である旭川を離れ、20代を大阪で過ごしました。公認会計士として大阪で監査法人へ勤務し、30歳になるタイミングで北海道へ帰郷し、税理士登録し、その後は札幌市内のIT企業のCFOを務めました。

そんな私の趣味はゴルフでして、昨年11月のTKCのゴルフコンペにお誘いいただいたのをきっかけに、今年は毎回ゴルフコンペに参加させていただいております。税理士事務所として顧問先が1件もない状態で開業したため、幸か不幸かゴルフに打ち込む時間を多く取ることができ、先日ついに初めてスコア100を切ることができました！

思えば、25歳で監査法人へ入所し、人生で初めてのボーナス支給日のこと。当時の上司からの~~絵に描いたようなゴリゴリのパワハラ~~熱烈な勧誘がきっかけでゴルフを始め、苦節9年。関西近郊を中心に100回以上のラウンドを重ね、何度も挫（くじ）けそうになりながらもなんとか一つ目標を達成することができました。

話は変わりますが、私が税理士事務所の独立開業を決めた理由の一つに、現在のわが国が抱える労働人口の減少という問題があります。特に中小企業においては、人材採用の困難さは年々増加しており、特に労働市場において経理業務を担当できる人材の減少が顕著な状況にあると感じております。そこで問題解決の手段として白羽の矢が立ったのがDX（デジタルトランスフォーメーション）です。ITやツールを利用することで経理や記帳業務の「自計化」よりもさらに踏み込んだ、「微計化」や「無計化」という時代が遠くない未来にやってくるのではないかと考えております。

そこで、私のこれまでの公認会計士・税理士としての経験とIT企業の取締役としての経験から中小企業に対するDXを推進することが、私が税理士として社会において果たすべき役割であると考えています。

そうはいっても、税理士業界も過渡期にあり、顧問先からの簡単に理解が得られるわけではないことは覚悟の上ですが、ゴルフと同様に自分の理想に向かって粘り強く挑戦して行ければと思います。（ゴルフと違って事務所経営に生活がかかっているので早く軌道に乗せないと暮らしていけないのですが…）

新米事務所ですので、1日も早く一人前の事務所となれるよう、ぜひ会員の皆さまからご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。